

みんなで防ごう 高齢者虐待・障がい者虐待

高齢者や障がいのある方への虐待は、市内でも実際に相談が寄せられており、内容も様々なものがあります。

虐待が起こる背景には、認知症や障がいに対する理解不足、家族の介護疲れなど、様々な要因があります。

こんなことが「虐待」です

 身体的虐待	叩く、つねる など ※ベッドやイスに縛り付けたりミトンの手袋を付ける、部屋に鍵をかけて出られないようにする行為も虐待になる場合があります。
 心理的虐待	侮辱する、怒鳴る、無視 など
 経済的虐待	本人の預貯金を勝手に使う、必要な金銭を渡さない など
 ネグレクト 介護や世話の放棄	食事や入浴、洗濯など必要な世話や介助をしない など
 性的虐待	同意のない性的接触やいたづら、衣服を着せない など



虐待を防ぐために

■ 介護者や介助者の皆さんへ

自分で頑張ろうとせず、周囲のサポートに頼みましょう

介護や介助による身体的な疲れや相談相手がいらないことによる孤立感により、虐待に繋がってしまうことがあります。

福祉サービスを利用したり、専門機関へ相談しましょう。

■ 地域住民の皆さんへ

皆さんの気づきと見守りが高齢者や障がいのある方を救います

虐待を防ぐためには、ちょっとした変化やサインに周囲が早く気づいてあげられることが大切です。普段から温かい見守りの目をお願いします。

「虐待かな？」と感じたら通報・相談をお願いします

虐待を早期に発見し、対応することで虐待の深刻化を防ぐことができます。

少しでも気になることがあれば、専門機関へご相談ください。

▶相談者の個人情報は厳守されます。

【高齢者虐待に関すること】

- （栗野地区以外の方）**地域包括支援センター「あいあい」** あいあいプラザ内 ☎22-7272
- （栗野地区の方）**地域包括支援センター「なごみ」** つるが生協在宅総合センター和内 ☎21-7530
- （各センターと連携・協働）**地域包括支援センター「長寿」** 長寿健康課内 ☎22-8181

【障がい者虐待に関すること】

敦賀市障がい者虐待防止センター 地域福祉課内 ☎22-8176



敦賀と琵琶湖を結ぶ、幻の運河計画



令和6年3月16日の北陸新幹線金沢－敦賀間開業は、日本海側有数の港であり交通の要衝として知られる敦賀にとって、新たな歴史の1ページとなりました。

太平洋側と日本海側を結ぼうとしてきた歴史において「運河計画」はその象徴の一つです。それは敦賀（日本海）と琵琶湖間に運河を設置し、さらに太平洋側に水運を繋げるという壮大な計画でした。計画は実現していませんが、実は多くの計画段階の史料が残っており、敦賀の足田地区に残る「舟川遺構」

は、その計画の一部が実現したものと言われています。

新たに新幹線が走り出したこの機会に、海と共に栄枯盛衰の歴史を歩んできた敦賀の、知られざる歴史の一端をご紹介します。



▲敦賀風景八ツ乃詠 表紙

10月18日(金) ▶ 11月24日(日)

開館時間：9時～17時（最終入館 16時30分まで）

休館日：月曜日（11/4を除く）、11/5（火）

入館料：一般300円

団体（20名以上）250円【高校生以下無料】

10/20（日）、11/16（土）・11/17（日）は無料開館

この企画展は、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の支援を受けて実施しています。



＜関連イベント＞

●記念講演会

「敦賀から琵琶湖を結ぶ加賀藩の大運河計画」

講 師：島崎 毅 氏
（一般財団法人高樹会 代表理事）

会 場：市立図書館

開催日：11月2日（土）14:00～

参加費：無料

定 員：100人（先着順）（申込不要）

協 力：気比史学会

●ギャラリートーク

開催日：10月19日（土）、11月24日（日）

各日13:30～

参加費：無料（入館料は別途必要となります）
（申込不要）

●敦賀市民歴史講座

「日本横断！運河計画

－敦賀～琵琶湖運河計画と琵琶湖の新田開発－」

講 師：杉江 進 氏（大津市歴史博物館 館長）

会 場：市立図書館3階

開催日：11月16日（土）14:00～

参加費：200円（協力金）

定 員：100人（先着順）（申込不要）

主 催：気比史学会

問い合わせ先 市立博物館 ☎25-7033